

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
5 年 第 3 号	5. 1. 30	<p>洞峰公園の無償移管に係る要望</p> <p>私たちはつくば市の住民である。洞峰公園は、つくばが市街地化される際、高校の先生方を中心とする先人が中心になって実施した、現在の環境アセスメントの先駆けとも言える洞峰沼一帯の環境調査※1 とそれに基づく提言※2 をもとに原型が出来上がった公園であること、茨城県の適切なる公園管理のもとで洞峰沼とその周辺の豊かな自然環境が守られた「県南を代表する歴史的で文化的に価値ある公園」であることを誇りに思っている。また、つくばやその周辺の子育て世代やあらゆる世代の人たちにとって、安心して過ごせる健全な公園であると思っている。</p> <p>さて、この度、茨城県より「洞峰公園パーク P F I 事業」が発表され実行に移されようとしているが、グランピング、ドッグラン、B B Q等の施設の建設により、公園内の環境や景観、風紀、安全、さらには公園周辺の道路事情も含めた周辺環境が悪化することを懸念する住民の声が上がった。健全な県政を行う立場から最新のパーク P F I 手法を用いて事業を推進しようとする県と、環境を重視した現状の公園の利用方法を希望する市や住民との間で隔たりが生じるのはやむを得ないことであるとも考える。これを受けて、茨城県は当初計画の見直し案を提示すると同時に、洞峰公園の運営を茨城県からつくば市に無償で移管する代替案を示した。</p> <p>そこで、私たちは、茨城県からつくば市に無償で移管する代替案を、上記事業に係る問題を解決する県からのすばらしい提案として捉え、この提案にしたがってつくば市との交渉を進めてもらうことを要望する。つくば市はこの提案を受け容れることで、つくば市が掲げる「つくば市の未来構想」のもとで、洞峰公園の豊かな自然資産、歴史的、文化的価値を未来の世代に継承し発展させていくことができるものと信じている。</p> <p>茨城県からつくば市への移管となると、これまで茨城県が行ってきた公園の管理・運営を今後つくば市が行わなければならないため費用の拠出が問題になるが、今後、産官学で知恵を出しあい、オールつくばで持続可能な公園の維持管理に取り組んでいくことを、つくば市に提案する。そして、私たち住民も、</p>	<p>ライオンズマンション筑波学園都市管理組合 理事長 渡邊 祿郎 ほか1名</p>	<p>土木企業 立地推進</p>

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
		<p>継続して行われてきた公園の美化、見回りなど公園の管理・運営に係る活動に、これまで以上に積極的に「市民参加」する所存である。</p> <p>※1 昭和44年度 特別地域自然財分布調査報告書（鹿島・行方地区、筑波研究学園都市地区）、茨城県教育委員会、昭和45年3月31日</p> <p>※2 筑波研究学園都市 洞峰沼の整備と管理保全に関する検討報告書、日本住宅公団 研究学園 都市開発局、社団法人 日本公園緑地協会、昭和53年2月</p>		